

令和6年度

白地小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

考えよう！伝え合おう！ふり返ろう！
～思考力、判断力、表現力の向上を目指して～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
高学年担当 青野 仁	委員総括 松本 珠実、総括補佐 四宮 亜樹 研修主任 青野 仁 低学年担当 上野 三千代、小原 敏二 中学年担当 竹原 朋子、藤田 駿介 高学年担当 東 由紀

校長

松本 珠実

【各校の取組状況の把握について】

--

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○視写等の活動を通して様々な表現にふれたり使ったりする機会にまじめに取り組んでいる。 ○子ども達の書くことに対する抵抗感が減り、スピードも上がっている。 ●語彙が乏しく、様々な表現方法にふれる機会も少ない。表現に関する知識・技術の習得に課題がある。	・様々な表現技術を知ったり語彙を増やしたりすることができ、読解力の向上に生かすことができる。	・木曜日のドリルの時間を「視写・聴写タイム」とし、様々な表現にふれたり使ったりする機会をもつ。(週1回以上視写に偏らず、聴写も取り入れる。)			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の意見を進んで伝えられる子どもが増えるとともに、司会の仕方等、話し合いがスムーズに進むよう工夫する姿も見られる。 ●意見はあるものの、それを的確に表現する力が十分育っていない。	・様々な方法で、根拠を明らかにして自分の考えを発信することができる。	・いろいろな教科の学習や150周年記念などの行事等と関連づけ、話し合い活動の充実を図る。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○素直で優しい子どもが多く、決められたことに一生懸命取り組むことができる。 ●より高い目標に向かって、粘り強く取り組むことに課題がある。また自己肯定感の低い子どももいる。	・自己の成長に気づき、主体的に粘り強く学習に取り組むことができる。	・自己の学びをふり返る場面の工夫をする。 (低学年)発達段階に合わせて、記号等で自分の気持ちに近いものを選択させたり聞き取りをしたりして、可能な限り詳しくふり返ることができる。ICTを活用し、成長や変化、自信も感じられる工夫をする。 (中学年)発言やノートでめあてに対するふり返りをし、互いのふり返りを共有し認め合うようにする。 (高学年)学習をふり返り、達成感や次への課題意識がもてるようにする。			

